

(自治体首長に対する激励・要請文のひな型)

2011年 月 日

大阪港港湾管理者
大阪市長 平松邦夫 様

原水爆禁止日本協議会
原水爆禁止〇〇県協議会
(連絡先:)

ブルーリッジの大阪港寄港計画を拒否されるよう要請します

住民の安全と福祉の増進、地域経済の振興のためにご尽力されている貴職に敬意を表します。

さて米海軍第7艦隊旗艦のブルーリッジが2011年5月13日から大阪港に寄港する計画であると報じられています。

私たちは、唯一の被爆国である日本が核兵器禁止・廃絶の先頭に立つためにも、非核三原則と紛争の平和解決を謳う憲法を厳正に実行し、日本の安全を他国の核兵器に頼る「核の傘」から離脱すべきであると考えています。その証としても核密約を破棄し、核積載能力を持つ艦船には非核の証明を求めるべきです。また「トモダチ作戦」を口実に、核戦争を想定した日米共同作戦や日米軍事同盟の深化が進められる中で、米艦船の民間港への寄港計画は、「戦争への道」にもつながるものです。あわせて、民間港の軍事利用を認めることは、商業や地域経済への影響とともに、軍事高揚、戦争協力への危険な道でもあります。

私たちは、外務省と米国大使館あてに、寄港中止と寄港押し付けをするなど抗議・要請も行っています。あらためて貴職が、大阪市議会「大阪港平和利用決議」と地方自治と住民の安全を守る立場から勇気ある決断をされ、今回の艦船の寄港計画を拒否されることを心より期待し、下記の要請を申し上げます。

記

1. 非核証明書の提出のない外国艦船の寄港は拒否すること。
2. 民間港を軍事利用させないために、軍用艦船の寄港を許可しないこと。